

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目
部等名	産業経済部	課等名	林務課	内線	3530	1	6	2	2	12	3
政策体系上の位置付け	政策	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり				関連計画、条例等	森林法 森林・林業基本法				
	施策	林業振興									
基本事業											
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続								
事業期間	14年度～	18年度	環境調整会議の必要性	なし							

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを目ざします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	森林整備協定締結者 森林施業計画対象区域内の森林	協定締結者数(人)	当初(15)	17年度	12	
16年度			12			
積算基礎森林面積(ha)		当初(15)	17年度	728		
		16年度	800			
意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)		成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)			
森林に対する意識の高揚(森林に対する親近感と重要性、関心度) 森林が、計画的かつ適正に管理される山に入ってもらう		地域活動への参加人数(人)	当初実績(15)	最終目標		
	16目標		300	16実績	537	
	17目標		400			
	森林施業計画区域内の森林整備面積(ha)	当初実績(15)	最終目標			
		16目標	80	16実績	146	
		17目標	100			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容 (やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
		森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図る観点から、森林所有者等による森林施業の実施に不可欠な森林の現況の調査その他の地域活動を支援するために、森林施業計画区域内の積算基礎森林面積1haあたり1万円の交付金を交付する事業。	12団体に交付金を交付	交付金額(千円)
12団体に交付金を交付			交付金額(千円)	7600

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額	特定財源内訳
事業費	国庫支出金	4,000	3,667	3,800	
	特定財源	2,000	1,833	1,900	
	起債				
	その他				
	一般財源	2,000	1,834	1,900	
事業費計(A)		8,000	7,334	7,600	
人件費	正規職員所要時間	150		150	
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)	528	0	528	
トータルコスト A+B		8,528	7,334	8,128	

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	森林の持つ公益的機能の増進 緑豊かな自然環境の保全 林業の振興	市内民有林の森林整備面積(ha)	16目標	1000	16実績	1055
17目標			1000			
		16目標		16実績		
		17目標				

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
森林整備に不可欠な地域活動を支援することにより、森林への注目度を向上させるとともに、立ち遅れている森林の整備を推進しようと考えたから。(時同じくして国庫支出の事業が開始したから)	変化なし	特になし

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がある (その理由) 対象を拡大することが、結果の拡大につながる。		廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響あり (その理由) 森林所有者の森林管理に対する意欲の低下により、森林の荒廃につながり、最終的には生活環境に影響を及ぼす。
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由) 森林所有者が森林の適正管理を行うため、意欲高揚の必要性から、現在の意図での継続が望ましい。		類似事業の有無と統合の可能性(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由) 類似事業がないので、連携や統合は不可能である。
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由) 結果の公益性が高いため必要である。		効率性 評価 成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 不可能 (その理由) 交付金の申請、交付、検査等の最低限必要な事務のための人件費であるから削減は厳しい。
			公平性 評価 受益者は誰か?負担の是非、程度は妥当か?	(評価) 妥当である (その理由) 交付金という形態であり、受益者と交付金を受けるものが同一なため。	

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案)	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案) H18までの時限制度のため現状を維持する。	改革改善案実施の課題と克服方法 毎年度の交付団体による地域活動の実績管理。特に森林施業計画に基づく森林整備面積の啓発と把握